

問 キビ才峠の眺望が立木の成長により悪くなってきたが、立木の買い上げは考えているか。

林組合と話しを進め眺望を

良くしていきたい。
問 大原自然村について現状と契約更新はどのようにしているのか。

福島支所長 16棟あり現在
いっばいである。更に借り

Q 支所業務の充実は

A 予算増と町づくり計画の実行



松井 淳一 議員

問 20年度予算において、地域づくり事業費、住民協働事業費等を約3千600万円増額し、各支所に分配

所が独自の裁量で事業実施できるよう地域づくりのための予算を各支所に盛り込んだ。仕事の効率化を図るため、住民ニーズに柔軟に対応するためである。各支所の質の向上が求められている。

することになっている。事業費の増額だけでは支所業務の充実は図れませんが、どのように業務の質的向上を進めていくのか。地域や住民に心をよせた予算をどう執行していくのか。

各支所長 自治協議会が昨年策定した地域町づくり計画に基づき事業を実施していく。実施の際には住民ニーズを十分に聞き、それに応えらるるようしていきたい。支所職員の能力向上のために研修も積極的におこない、質の向上に努めたい。

総務課長 20年度予算では補助、過疎債事業以外は支

たい人が17名いて待つている状態である。
問 今後増設する計画はないか。

福島支所長 現在のところ増設の計画はしてない。

その他の質問

問 中心市街地活性化計画の診断、評価、見直しについて。

答 現在の計画は20年度で打ち切り、その後については20年度に計画を検討し、本町、上町を住民が集える場所にしていく方向で進めたい。ソフト事業を中心に進めていくことを考えている。



日義地区協働事業

Q 特定検診の方向は

A 目標を達成できなかったらペナルティ



上田とめ子 議員

問 4月から「高齢者の医療の確保に関する法律」の施行に伴い、40歳〜74歳の国民健康保険加入者に対し糖尿病等の生活習慣病に関する、特定検診・特定保健指導をおこなうことになったが、問題点は何か。

に格下げされ、血圧を下げる薬やコレステロールを下げる薬などを使用している人は、検診の対象者から除かれる方向だが、対策は。
保健福祉課長 75歳以上で生活習慣病の可能性のある方は、特定高齢者と判断され、生活機能評価を受ける中で血液検査などができる。
問 40歳〜74歳の内、他の社会保険加入者の扶養家族に対する特定検診への取り組みはどうか。
保健福祉課長 20年度は特定検診の初年度で事務的にも大変な面があり困難だが21年度以降は考えたい。

住民環境課長 国が示す目標値を達成できなかった場合、後期高齢者の支援金を増額するペナルティが課せられることになる。

問 メタボリックシンドロームが中心になったり、町民が等しく検診を受けられないなど問題点がある。国に対し改善の声を上げるべきであるがどうか。
保健福祉課長 現在もすでに問題が出ている。一年経過の中で動きも見ながら対応していきたい。

問 75歳以上は検診を受けなくてもいい「努力義務」